

問1 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？

1. 太平洋側 2. 中央高地 3. 瀬戸内側 4. 日本海側

問2 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？

1. 愛知県 2. 兵庫県 3. 福岡県 4. 神奈川県

問3 1980年代に、日本から自動車や半導体などが大量に輸出されたことで生じた国際的な不釣り合いを何という？

1. 輸入超過 2. 貿易不均衡 3. 輸出超過 4. 関税障壁

問4 太平洋ベルトを中心に発展し、日本の主要な輸出製品を製造している産業分野を何という？

1. 自動車工業 2. 石油化学工業 3. 機械工業 4. 製鉄業

問5 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？

1. 製造業 2. サービス業 3. 運輸業 4. 建設業

問6 製品の素材を加工して部品を作り、それを組み立てて製品を完成させるタイプの工業を何という？

1. 加工組立型 2. エネルギー型 3. 素材型 4. 資源型

問7 太平洋ベルトにおいて、東京都と神奈川県にまたがる、日本屈指の工業地域を何という？

1. 中京 2. 阪神 3. 京浜 4. 北九州

問8 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？

1. コンバイン 2. トラクター 3. ビニールハウス 4. スプリンクラー

問9 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？

1. 工場 2. 農協 3. 倉庫 4. 市場

問10 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

1. プレトンウッズ協定 2. スミソニアン協定 3. プラザ合意 4. ルーブル合意

問11 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？

1. 中央高地 2. 日本海側 3. 九州北部 4. 太平洋側

問12 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？

1. 食品工業 2. 繊維工業 3. 鉄鋼業 4. 先端技術産業

問13 旬の時期以外にも出荷量を安定させるため、ガラスやビニールハウスなどを使って栽培することを何という？

1. 施設園芸農業 2. 酪農 3. 畑作 4. 稲作

問14 漁獲量を安定させるため、海産資源を管理しながら積極的に増やす仕組みを何という？

1. 遠洋漁業 2. 沿岸漁業 3. 資源管理型漁業 4. 沖合漁業

問15 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？

1. 門前町 2. 港湾都市 3. 学園都市 4. 企業城下町

問16 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？

1. 輸出拡大 2. 輸入制限 3. 委託生産 4. 現地生産

答え合わせ・解説

問1	答え 1 太平洋側	促成栽培とは、気温の高い地域や施設を利用して、野菜の収穫時期を通常より早める技術です。冬に収穫できることで市場価格が高くなりやすい時期に出荷できるため、農家の収益向上にもつながります。
問2	答え 4 神奈川県	神奈川県の沿岸部には、京浜工業地帯の主力工場や物流倉庫、研究所が数多く存在します。特に横浜港は、古くから国際貿易港として日本と世界を結ぶ役割を果たしてきました。
問3	答え 2 貿易不均衡	しかし、日本からの輸出が急増しすぎること、輸入相手国との間で「貿易不均衡」が生じました。特にアメリカとの間では激しい摩擦（貿易摩擦）となり、日本の製品に対する関税の引き上げや、輸出の自主規制などが求められる事態となりました。
問4	答え 1 自動車工業	自動車工業は、鉄鋼、機械、電気など数多くの関連産業から成り立つ「すそ野の広い産業」です。多くの部品を港に近い工場で組み立て、完成車として世界へ輸出する体制が整っています。
問5	答え 1 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問6	答え 1 加工組立型	加工組立型工業とは、部品を組み合わせる自動車や機械などの生産を指します。多くの専門的な中小企業に関わることで、高度な製品を効率よく生産できるのが特徴です。
問7	答え 3 京浜	京浜工業地帯は、重化学工業を中心としてスタートしました。東京港や横浜港などの大きな港を抱え、原料の輸入から完成品の出荷までスムーズに行える利点があります。
問8	答え 3 ビニールハウス	ビニールハウスは、骨組みにビニールやプラスチックのシートを張り、内部の温度や湿度を管理する施設です。太陽光を透過させて内部を暖め、外気の影響を抑えることで、野菜の成長を早めることができます。
問9	答え 4 市場	市場は、生産者が育てた野菜や果物を全国から集め、仲卸業者を通じてスーパーマーケットや小売店へ流通させる拠点です。適切な価格形成を行い、安定した供給を保证する役割を担っています。
問10	答え 3 プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問11	答え 4 太平洋側	太平洋ベルトと呼ばれるこの地域には、京浜や阪神などの主要な工業地帯が並んでいます。気候が温暖で人口も多く、巨大な消費地と生産地が近接しているため、工業の発展には非常に有利な条件が揃っていました。
問12	答え 4 先端技術産業	先端技術産業は、研究開発力や優秀な人材を必要とします。そのため、大学や研究機関が近く、生活環境の整った大都市圏や、その周辺に本社や研究所を設置する企業が増えています。
問13	答え 1 施設園芸農業	施設園芸農業は、ビニールハウスやガラス室の中で温度・湿度・日照時間を調整して栽培します。これにより、露地栽培では難しい時期の出荷が可能になり、市場価格が安定しやすくなります。
問14	答え 3 資源管理型漁業	資源管理型漁業は、漁獲量に制限を設けたり、稚魚を放流したりして、資源を枯渇させないように管理する手法です。特に栽培漁業と密接に関連しており、自然の海を上手に活用する技術が重要視されています。
問15	答え 4 企業城下町	企業城下町とは、ある大企業の工場が町の経済や雇用を支える中心となっている都市を指します。雇用が安定し、地域経済がその企業に依存する一方で、インフラ整備などが進むという特徴があります。
問16	答え 4 現地生産	「現地生産」は、製品を売る国の中で工場を運営する方式です。これにより、相手国の雇用を増やし、物流コストを抑えることができます。特に自動車産業では、日本メーカーがアメリカや欧州に大規模な工場を次々と建設しました。